

ふるさとに学びふるさとを愛する児童の育成

越前市南中山小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	5回 (のべ) 5日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	51人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	110人
登下校支援ボランティア	450人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

具体的活動内容

本校がある南中山地区では約1300年前、奈良の平城京にある長屋王に赤米を献上していたことが、長屋王邸跡(やしきあと)発掘調査から出土した木簡により明らかとなっている。この史実に基づき、本校では平成16年から赤米栽培を行い、例年11月に収穫した赤米を奈良の薬師寺に奉納している。この活動は本校の特徴的な活動であり、地域学校協議会での提言を生かし、ふるさとに学びふるさとを愛する児童を育てるため、様々な活動を地域の方々と共に展開した。

田植え・・・事前に地域の方からふるさとの赤米づくりの歴史を学習し、5月に地域の方と一緒に手植えをした。

観察・・・稲の生長を随時観察し、学習に生かした。

発表・・・10月の学習発表会では赤米について発表した。

稲刈り・・・11月中旬、地域の方々とともに稲刈りを行った。

奉納・・・11月に奈良の薬師寺に地域の方とともに赤米を奉納した。

<赤米スイーツについて>

校区の菓子店に協力を依頼し、児童のアイデアを生かした赤米パウンドケーキと赤米ランチチョコレートを製作してもらった。12月には地域の方を招待し、赤米を使った給食献立と赤米スイーツを全校で味わった。製作に当たった地域の菓子店では本格的に商品化し、現在も力を入れて販売している。



成果と課題

地域学校協議会での提言により、赤米づくりではできるだけ全校的活動に広げ、地域とより密着した活動に転換を図ってきた。今年度は赤米スイーツ製作に係わる活動が非常に好評で地域との連携を実感することができた。来年度以降もふるさとに学びふるさとを愛する児童育成の主たる手段として活動を続けて行きたい。また新たな地域との連携を模索しながら、「ふるさと」で生きるたくましい児童を育成することを考えていきたい。